

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年12月19日
【事業年度】	第75期（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）
【会社名】	横浜冷凍株式会社
【英訳名】	YOKOREI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古瀬 健児
【本店の所在の場所】	横浜市鶴見区大黒町5番35号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	横浜市西区みなとみらい三丁目3番3号 横浜コネクトスクエア10階
【電話番号】	（045）210-0011
【事務連絡者氏名】	財務経理部長 前田 直孝
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2025年1月6日に提出いたしました第75期（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）有価証券報告書の訂正報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第5 経理の概況

1 連結財務諸表等

注記事項

（連結貸借対照表関係）

（リース取引関係）

2 財務諸表等

注記事項

（貸借対照表関係）

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

【注記事項】

（連結貸借対照表関係）

（訂正前）

（省略）

5．有形固定資産について、取得価額から控除した圧縮記帳額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当連結会計年度 (2022年9月30日)
機械装置及び運搬具	421百万円	190百万円
建物及び構築物	949	-
土地	68	-
計	1,439	190

（省略）

（訂正後）

（省略）

5．有形固定資産について、取得価額から控除した圧縮記帳累計額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当連結会計年度 (2022年9月30日)
建物及び構築物	949百万円	949百万円
機械装置及び運搬具	1,038	1,228
土地	1,043	1,043
その他	0	0
計	3,032	3,222

（省略）

(リース取引関係)

(訂正前)

(借主側)

1. ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

有形固定資産

主として、機械装置及び運搬具であります。

(2) リース資産の減価償却の方法

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4. 会計方針に関する事項 (口) 重要な減価償却資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。

(訂正後)

(借主側)

1. ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1) リース資産の内容

有形固定資産

主として、機械装置及び運搬具であります。

(2) リース資産の減価償却の方法

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4. 会計方針に関する事項 (口) 重要な減価償却資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当連結会計年度 (2022年9月30日)
1年内	497	1,437
1年超	1,961	970
合計	2,459	2,408

2【財務諸表等】

【注記事項】

(貸借対照表関係)

(訂正前)

(省略)

2.有形固定資産について、取得価額から控除した圧縮記帳額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2021年9月30日)	当事業年度 (2022年9月30日)
機械装置及び運搬具	421百万円	190百万円
建物及び構築物	949	-
土地	68	-
計	1,439	190

(省略)

(訂正後)

(省略)

2.有形固定資産について、取得価額から控除した圧縮記帳累計額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2021年9月30日)	当事業年度 (2022年9月30日)
建物	915百万円	915百万円
構築物	34	34
機械及び装置	1,034	1,224
車両運搬具	3	3
工具、器具及び備品	0	0
土地	1,043	1,043
計	3,032	3,222

(省略)